

令和5年度埋設農薬の探査に関する事業の結果概要

【岐阜県下呂市】

令和6年3月18日

1 事業の概要

岐阜県下呂市の国有林野に埋設・管理している 2,4,5-T 系除草剤(乳剤2リットル)に関して、令和4年度に引き続き、埋設箇所を確認するための地中レーダー探査等を実施した。

昭和46年に埋設後、昭和60年に設置された注意喚起のための標識を中心に半径約50mの区域(造林地等を除く)を対象に、令和5年9月12日より刈払い作業を行った後、地中レーダー探査を実施し、埋設農薬と思われる物体を確認するために探査棒による調査を行った。11月15日より、埋設農薬に由来する化学成分の土壌中の有無を調べるため、土壌汚染対策法に準じた土壌調査等を行った。

2 調査状況、調査及び分析結果

調査箇所 調査項目	岐阜県下呂市 (地中レーダー等による調査、土壌調査)		
調査状況写真	<p><元の様子></p> 	<p><刈払い作業後の様子></p>  <p>[事業箇所の全景]</p>	
	<p><地中レーダー探査></p> 	<p><探査棒調査></p> 	<p><土壌調査></p> 
埋設物の有無、状態	確認に至らず。		
対象地の土壌状態	探査棒による調査箇所及び土壌試料採取箇所において、異常なし。 (ビニール袋等の異物や臭気が確認された箇所はなかった。)		
地中レーダー等による調査結果	19箇所地中の異物、59箇所地層の乱れ、9箇所その他に起因する可能性があり計87箇所において探査棒による調査の結果、 <u>異常な臭気は認められず、埋設農薬と思われる物体の確認には至らなかった。</u>		
土壌汚染対策法に準じた土壌調査による分析結果	注意喚起標識を中心に埋設可能性のある区域を5つの30m×30mの格子に区分した上で、上記の異物や乱れ等が確認された87箇所から、試料を21箇所採取し、その試料を各格子ごとに混合して1検体として計5検体の2,4,5-T及び2,4,5-T由来のダイオキシン類の含有量の測定分析を実施。 <u>2,4,5-T及び2,4,5-T由来のダイオキシン類である2,3,7,8-TeCDD(テトラクロロジベンゾジオキシン)は全箇所不検出。</u>		

3 今後の取組予定

令和5年度の調査及び分析結果を踏まえ、学識経験者等からの意見を聞きながら、土壌調査の対象区域を拡大する等作業方法の見直しを検討する予定である。